

## 日本熱電学会誌執筆要領

日本熱電学会 学会誌編集委員会

### (目的)

本要領は、『日本熱電学会誌』のおもな文書の形式を定めるものである。

### (発効)

本要領は、日本熱電学会誌編集委員会が発案・発効し、理事会に報告する。

### (改廃)

本要領の改廃は、日本熱電学会誌編集委員会が行う。

### (文書の種類)

『文書』の種類を原則として以下のように定める。

- ・巻頭言：内容は特に定めない。
- ・トピックス：内容は特に定めない。
- ・特集：熱電現象の関連するテーマに関する、専門的な記事。
- ・研究紹介：熱電現象に関する研究の紹介。
- ・講座：熱電現象に関連する理論・実験などに関する基礎的・一般的な記事。連載も可能とする。
- ・研究室紹介：熱電現象に関する研究を行っている機関の紹介。
- ・学会報告：熱電現象関連の発表のある学会への参加報告。
- ・研究会報告：日本熱電学会の主催する研究会の報告。
- ・Q&Aコーナー：読者からの質問とそれに対する編集委員会からの回答。
- ・読者コーナー：読者からの投稿・意見。
- ・会告：人事募集，追悼，決算報告，学会からのお知らせなど。
- ・学会スケジュール：講演会開催予定一覧。
- ・査読付論文：熱電現象に関する研究論文。基礎的内容を主とする学術論文と技術的内容を主とする技術論文がある。学術論文と技術論文それぞれにおいて，原著論文とレビュー論文がある。和文で執筆されることを推奨する。

(テンプレート)

編集委員会は、学会誌用のテンプレートを用意する。テンプレートは刷り上がりを模した実物大で、縦 A4版、左綴じ、横書き、2段組である。刷り上がりの標準的な設定は、44行、25文字（2段組みの場合）もしくは53文字（1段組みの場合）、上部余白20 mm、下部余白30 mm、左右余白20 mmである。執筆者は、原則的にこのテンプレートを使用し、原稿を提出する。テンプレートは日本熱電学会のWebサイトから入手できる。詳細はテンプレート（別添）に従う。なお、査読付論文に関しては、専用の投稿の手引きとテンプレートがある。

(著作権とライセンス)

本誌の著作権は、日本熱電学会著作権規程第1条から第5条に基づく。著作権規程は、日本熱電学会のWebサイトから入手できる。規程は適時更新される。

日本熱電学会は、2022年から「査読付論文」「講座」「目次」の全記事で、クリエイティブ・コモンズ(CC)ライセンスを採用している。CCライセンスとは、ユーザーが本誌に掲載されている素材を無償で使用、再利用することを許可するもので、出版元や著者に事前に許可を求める必要はない。日本熱電学会では、著者と本会の選択と合意により、CC BY-NC-ND 4.0あるいはCC BY 4.0で記事を公開している。

#### **CC BY-NC-ND 4.0**

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

CC Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International (CC BY-NC-ND 4.0) ライセンスでは、適切なクレジットが表示されている限り、改変されていない記事を非商業的に共有することができる。

#### **CC BY 4.0**

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

CC Attribution 4.0 International (CC BY 4.0) ライセンスでは、適切なクレジットが表示されている限り、商業目的であっても記事を共有したり翻案したりすることができる。

以上